

別紙2-1 提案書記述項目一覽

評価項目				重要 項目	記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	評価観点	得点配分		比重
大項目		小項目						上限配点	小計	
1	調達仕様書要件 に対する提案	1.1	本業務の目的・概要 についての理解		・ 本業務の方針を踏まえて、本調達に対する提案者の 理解を記載すること。	調達仕様書「1.本業務の背景と目的」	・ 本市の学校のICT環境の現状を理解し、目的の実現に 向けた取組方針となっている。	10	80	80%
		1.2	教材基本機能		・ 1 人 1 台端末での学習方法について具体的に記載 すること。	調達仕様書「5.1.基本機能」	・ 1人1台端末を用い、学校・家庭を問わず学習できる教 材である。 ・ 情報セキュリティ体制や個人情報の漏洩等の不測の事 態への対応方法・体制・マニュアルがある。	10		
		1.3	学習者機能	○	・ 生徒が自発的に学習に取り組むことができる機能 や理解を深めることができる機能について具体的に 記載すること。	調達仕様書「5.2.学習者用機能」	・ 視覚的に生徒の興味・関心が高まる工夫がある。 ・ 生徒の学習定着度に応じて、生徒自身が反復学習で きる機構が備わっている。	20		
		1.4	その他の機能		・ 本市に有益と思われる付加機能がある場合は、そ の機能について記載してもよい。	調達仕様書「5.3.あれば望ましい機能」	・ 生徒の情報活用能力育成のために、有効な機能が備 わっている。	10		
		1.5	指導者機能		・ 指導者の業務の負担軽減について具体的に記載す ること。	調達仕様書「5.4.指導者用機能」	・ 授業の単位ごとに、生徒の学習進捗を把握し、一元管 理できる。 ・ 授業進行・評価等において、教員の負担を軽減する機 能・資材が整っている。	10		
		1.6	指導者支援	○	・ 指導者の支援体制について具体的に記載するこ と。	調達仕様書「5.5.指導者用支援」	・ 教材使用方法に関する説明や情報分野が専門でない教 員でも専門性の向上、Web教材を有効活用した授業の進 め方等の研修等が開催される。 ・ 教科書や授業進捗の事情等に応じて教員から受ける疑 問や相談にも柔軟に対応できる。	20		
2	提案者に対する情報	2.1	事業受託の実績		・ 過去 3 年間の自治体に対する導入実績について規 模（校数、整備ID数）を明確に記載すること。	記載なし	・ 本調達を遂行できることが確認できる導入実績や提案 実績を有している。	10	10	10%
3	その他	3.1	本市に有益な提案		・ 上記記載事項以外で、本業務実施にあたっての更 なる工夫、有用な提案があれば、具体的に記載する こと。	調達仕様書「6.追加提案」	・ 当該提案が、本市にとって有用性の高い効果をもたら すことが具体的に示されている。	10	10	10%

100

100